

とか利益かとうか疑はしい。日本か恰も北南米に於けるルースベ
ルトのリーダーシップの如く東亞大勢に於ける軍事經濟上の共同
利益の促進の爲め主導者たる地位に在ること、世界の平和乃至
繁榮を阻害するものではない。依て列國は日本の半固たる決心を
理解し、不必要な嫉妬と恐怖を去るべきであつて、外務大臣の演
説は斯る目的に資する所大であらうと堂々論じてゐる。

△英米は日本に屈せず
一月二十二日重慶發U・Pによれば支那官邊筋では平沼首相並有
田外相の議會演説に關し特に批評を控へて居るか、要するに東亞
新秩序建設なる陳腐な言を繰返したに過ぎずと爲し、特に有田外
相の演説は英米の地位を依然輕視し、其の對日通牒を無視すると
共に他面極力佛蘭西及蘇聯兩國を恐喝して居るか兩國共聯盟の對
支援助決議案墨守の方策に出で居る以上かかる日本側の虚勢的威
嚇に屈する筈はない、殊に英米は日本の甘言を全然信する可能性
なしと斷して居る。

又安南の軍需品輸送に關しては、日本は屢々佛に抗議せるも若し

日本が再び斯かる威嚇を爲すに於ては世界全文明國を激視するものたと語りた由、尙二十三日同地發ル「ター電報」に依れば、支那側は右反響としては徒に支那側抗影繼續の決心を強化し、英米佛蘇の極東に於ける一層緊密な合作を促進するに過ぎぬと稱して居るか、「掃蕩報」は有田外相の佛蘇排斥策謀は結局民主國の合作を益々緊密化するものであると論し、大公報は蘇側計畫粉砕の唯一の効果的方法は戰場に於て之を打破するにあるか故に吾人は之か策戦準備を計るべきたと強調して居る。

東亞新秩序とは支那征服の別名（上海中華）
上流の漢字紙は首相、外相の演説は之迄の政府意見を繰返したも
のて軍部逼迫下の議會の動向は注目するに足らずとしてゐる。キ
ャップ紙の論調左の如し

△東亞新秩序とは支那征服の別名（上海中華）

上流の漢字紙は首相、外相の演説は之迄の政府意見を繰返したも
のて軍部逼迫下の議會の動向は注目するに足らずとしてゐる。キ
ャップ紙の論調左の如し

田代 首相及外相の演説は從來の東亞新秩序説を繰返して居る以
外に背異つてゐると思はれる點は對英米政策に關して取て英米と
明言するを避けて居ること、防共を強調しつつも俄に對蘇漁業
問題を説明して居ること及び安南の對英同情に言及し居ること等
であるか、安南に對して適當措置を講ずる旨を述べてゐるのは國
民に慰安を與へて一方對外強硬態度を示さうとする對内政策で、
又民主主義に對する各他國の現れてゐる。之は或は海南島占
領の口實であるかも知れない。

中美 東亞新秩序の樹立といふことは支那を征服しない中は已ま
ないといふことだ。支那の人力、物力を以て世界に挑戦せんとす
るものだ。東亞新秩序が成功したら平和はなくなる。日本の國防
及經濟に關係ある地方に或程度の制限を施すのは已むを得ないと